



スポーツマフラー（アップタイプ）取扱説明書

（政府認証品）

商品番号 : 04 02 0137
適応車種 : クロスカブ
フレーム番号 : JA10 4000001~

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
トレッキングスタイルをイメージしたアップタイプのスポーツマフラーです。アップタイプを採用することで、オフロード走行にも対応します。
サイレンサー、エキゾーストパイプは共にスチール製を採用し、表面には精悍な雰囲気を実際立たせるブラック塗装が施されています。
サイレンサーには大型のプロテクターを装備。プロテクター表面にはクロムメッキを施しています。
又、弊社製ハーフカバーセット、アンダーフレームセットと同時装着することでクロスカブのカスタムイメージを更に高めることが出来ます。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みになってご理解の上ご使用して頂きます様お願い致します。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

正しく安全にご使用頂くために

このマフラーはクロスカブ専用となります。JA07型スーパーカブ110及びJA10型：JA10 1000001~のスーパーカブ110、スーパーカブ110プロには使用出来ません。
取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても、当製品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。
製品を加工等された場合や取り付けられた場合は、保証の対象にはなりません。
指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

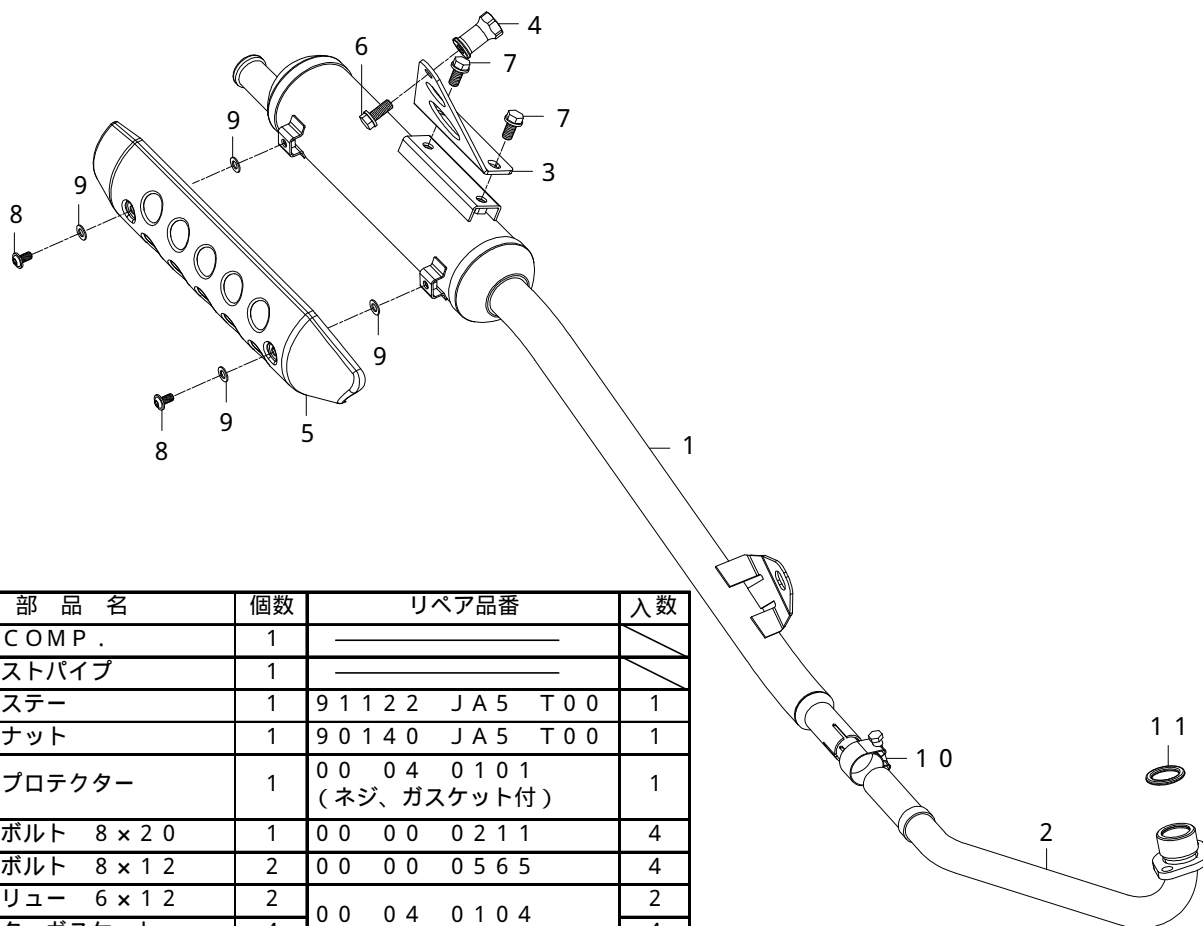
一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。(火傷の原因となります。)
作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、充分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)
走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
加速走行騒音認証制度は、車両がメーカー出荷時の状態で認証を取得しております。エンジンパーツ交換及び改造している車両に取り付け一般公道で使用しないで下さい。(法規適合証明の出来ない車両に取り付けた場合、違法マフラーとみなされます。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。(転倒につながる恐れがあります。)
エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

~商品内容~



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	マフラーCOMP.	1		
2	エキゾーストパイプ	1		
3	マフラステー	1	9 1 1 2 2 J A 5 T 0 0	1
4	ピボットナット	1	9 0 1 4 0 J A 5 T 0 0	1
5	マフラープロテクター	1	0 0 0 4 0 1 0 1 (ネジ、ガスケット付)	1
6	フランジボルト 8×20	1	0 0 0 0 0 2 1 1	4
7	フランジボルト 8×12	2	0 0 0 0 0 5 6 5	4
8	パンスクリュー 6×12	2	0 0 0 4 0 1 0 4	2
9	プロテクターガスケット	4		4
10	バンド	1	1 8 6 2 0 T 0 2 T 0 1	1
11	エキゾーストパイプガスケット	1	0 0 0 1 0 1 0 7	2

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

~取り付け要領~

STD部品取り外し

1. 水平な場所で車両をしっかりと安定させます。

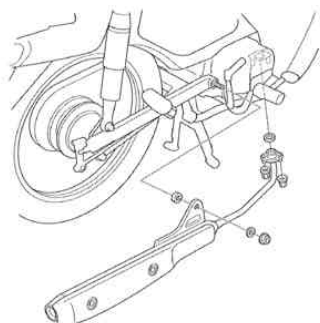
⚠ 警告：必ず水平な場所で車両を安定させる事。

2. 作業に適した工具を用意します。

3. エキゾーストパイプ部のナット2個を取り外します。

⚠ 注意：必ず冷間時であることを確認する事。

4. リアアクスルスリーブナットを外し、STDマフラーを取り外します。



作業が行いにくい場合、キックスターアームを取り外します。

5. 右側リアショック上部ピボットナットを取り外し、キット内のピボットナットを取り付け、規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：30N・m (3.0kgf・m)



6. エキゾーストポート部の古いエキゾーストパイプガスケットを外しキット内の新品のエキゾーストパイプガスケットを取り付けます。



マフラー取り付け

1. エキゾーストパイプをシリンダーヘッドエキゾーストポートに差し込みキット内のエキゾーストパイプフランジを使用し、STDナット2個を用いて取り付け、仮締めします。

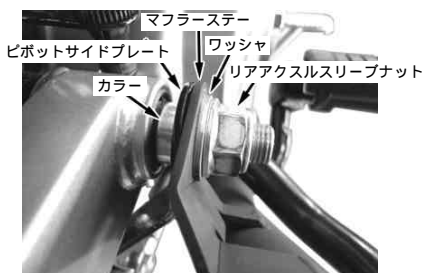


2. マフラーCOMPのサイレンサー部にステアをキット内のフランジボルト8×122本を用いて仮締めします。



3. エキゾーストパイプに一旦キット内のバンドを通しておきます。
4. マフラーCOMPジョイント部を、エキゾーストパイプストッパー部に当たるまで差し込み、マフラーCOMPステア部をリアアクスルシャフトに、カラー、ピボットサイドプレート、マフラーステア、ワッシャ、リアアクスルスリーブナットの順で取り付け仮締めします。

排気漏れを防ぐ為、差込口には液体ガスケットを塗布することを推奨します。
スリーブバンド 1207B 相当品
ロックタイト 5699 相当品



5. 右側リアショック部のピボットナットにステアをキット内のフランジボルト8×20を用いて仮締めします。



6. シリンダーヘッドエキゾーストポート部のフランジナットを規定トルクまで均等に締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：20N・m(2.0kgf・m)



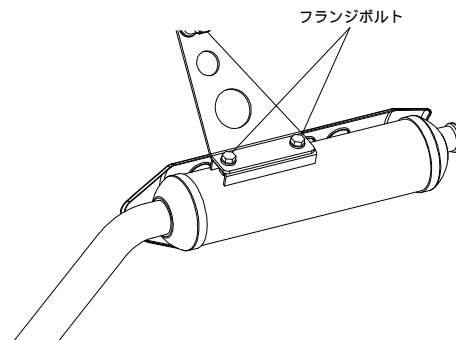
7. マフラーステアCOMPステア部のアクスルナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：59N・m(6.0kgf・m)



8. ステアを止めているフランジボルト2本を規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：25N・m(2.5kgf・m)



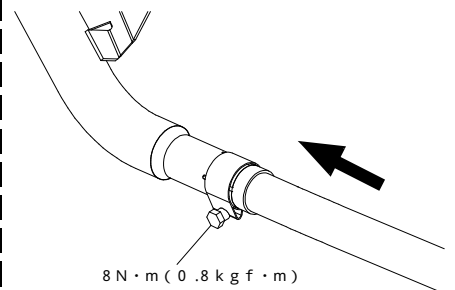
9. サイレンサーステア - 上部のフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：25N・m(2.5kgf・m)



10. エキゾーストパイプジョイント部にバンドを移動させてバンドを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：8N・m(0.8kgf・m)



バンドネジ部には、焼き付き防止剤を少量塗布することを推奨します。
焼き付き防止剤：アルミスベシヤル5g
00010001

11. マフラープロテクターを取り付けているパンスクリューは、ネジロック剤を塗布し締め付けています。もし、緩めた場合は、ネジ部にネジロック剤を塗布し、確実に締め付けて下さい。

参考トルク：6N・m(0.6kgf・m)

12. マフラーに付着した汚れをよく拭き取ります。
13. エンジンを開始させ、排気漏れの有無を確認します。

△警告：必ず換気のよい場所で行う事。

14. 各部をもう1度規定トルクで増し締めします。

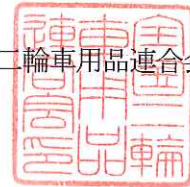
△注意：必ず冷間時に行う事。
△注意：必ず規定トルクを守る事。

自動車排出試験結果成績表

株式会社 スペシャルパーツ武川 御中

平成 25年 6月 18日

一般社団法人 全国二輪車用品連合会



後付消音器製作者等の名称	株式会社 スペシャルパーツ武川
後付消音器の名称 (型式)	スポーツマフラー
車名・型式	ホンダ・EBJ-JA10
車台番号又は車両識別番号	JA10-1001463

標記試験自動車について実施した自動車騒音試験の結果は以下のとおりです。

二輪車用アイドリング排出ガス試験成績表

試験場所:株式会社デイトナ試験コース

試験年月日:平成25年6月18日

① 試験自動車

車名・型式	ホンダ・EBJ-JA10	原動機型式	JA10E	最高出力	5.9/7500 kW/min-1
車台番号	JA10-1001463	4サイクル	単気筒	総排気量	0.109 L
走行キロ数	79 km	変速機	足動4段	使用燃料	無鉛レギュラー
車両重量	98 kg	減速比	2.500		

② 排出ガス測定機器

排出ガス分析計 アイドリング測定用 (株)堀場製作所 MEXA-584L

③ 試験成績

アイドリング測定

測定項目		測定値
原動機回転速度		1400 min-1
測定濃度値 (NDIR)	CO	0.57 %
	HC	200 PPM

※備考 排出ガス対策装置は、三元触媒×1個(株式会社 スペシャルパーツ武川製[JMCA0240010])
(依頼者の申告による)

排出ガス対策装置装着状態確認書

自動車車名・型式 ホンダ/EBJ-JA10

排ガス試験成績書番号 JH 024003

触媒装置メーカー名 (株)スペシャルパーツ武川

触媒装置名称 JMCA 0240010

マフラーJMCA認定番号

触媒装置装着位置確認図

サイレンサー部

エキパイ部

メインパイプ部

触媒装置単体写真



目視による排ガス対策装置の確認方法

触媒の寸法

長さ
直径

***** VEHICLE *****
INSPECTION
***** REPORT *****

CO	0.57	%vol
HC	200	ppmvol
CO2	13.62	%vol
AFR	15.4	
LAMBDA	1.057	
NO	0	ppmvol
O2	0.02	%vol
H/C	1.85	
O/C	0.00	

PLATE NUMBER:

車両装着時写真



CERTIFICATE NUMBER:

SIGN:

DATE 18-06-2013
TIME 14:11

TEST STATION

ADDRESS:

NAME:

TEL:

MEXA-584L
HORIBA Ltd.